

# 1月のテーマは、「回復期病棟・ADOC」ですっ！

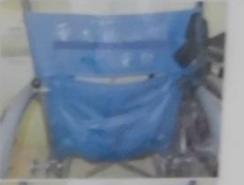
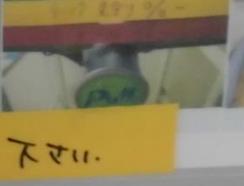
## 回復期病棟では、「最大限の能力の活用」を行うべく 患者様に合わせた生活活動を提供しています！！

今月は回復期リハビリテーション病棟で行っている取り組みをご紹介します！

病棟では、スタッフによって患者様の介助量が異なるという問題があります。

その結果、患者様はできる能力があるのにも関わらず、実生活でその能力を活かせません。

そういった問題を解決するために、当院回復期病棟ではテープを用いて、介助量が一目でわかるよう工夫をしています！！

	杖	歩行器	バギー	車椅子
自立				
見守り				
一部介助				
全介助				
時間指定				

上段日中  
下段夜間

杖とバギーは孔を付けた下でいい。



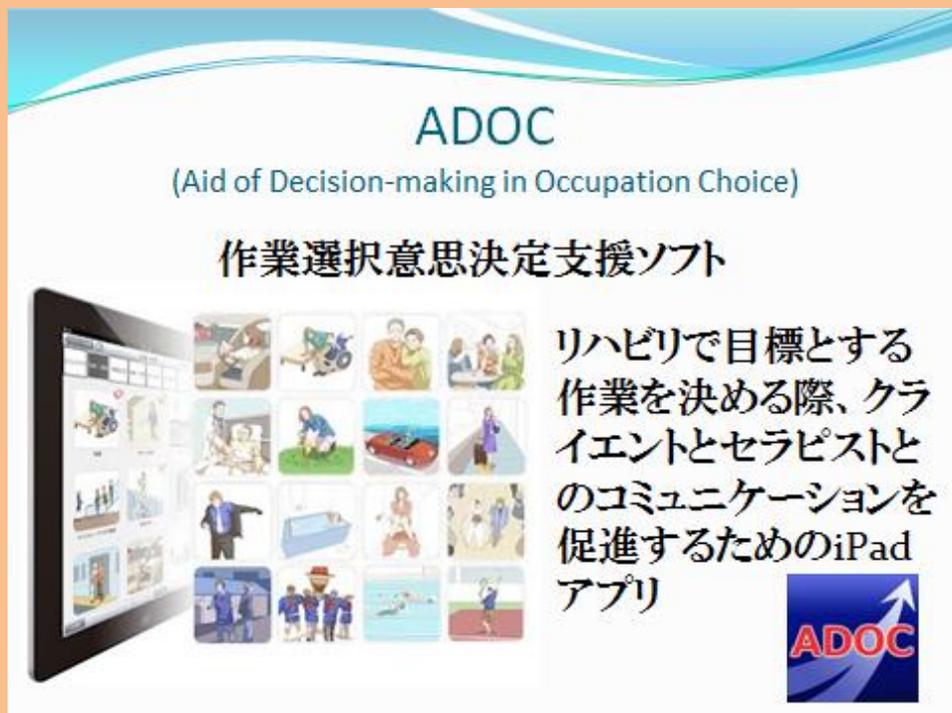
自立の方は青色・見守りの方は黄色・介助が必要な方は赤色といったように、介助量を色で区別しています。また、時間帯によって介助量が異なる患者様に対しては、テープをふたつ使用して上の色は日中、下の色は夜間の介助量を示します！！

担当じゃなくても、患者さんがどのような介助が必要なのかがわかり、関わるスタッフ全員で患者さんの能力を活かすよう関わられます。そして、、、

# 「してもらおう」リハビリから「やりたい」リハビリへ

## ～ADOC を使用した当院での取り組み～

当院では、患者様のニーズの聴取や目標のすり合わせのために作業療法士が ADOC というツールを使用しています！！



(ADOC HP より引用)

ADOC とは、患者様とリハビリの目標を設定する際にコミュニケーションを促進するための iPad のアプリです。なんと、なんと当院では共有の iPad を所有し、患者様に ADOC を実施しています。



iPad のイラストをもとに目標を設定していくので、直感的に選ぶことが出来て患者様の意外な一面や患者様の心の声を聴くことが出来ます。

例えば、「犬の散歩が出来るようになりたいから歩けるようになりたい!」とか「子どものお弁当を作ってあげたいから手の練習をする!」など…なぜ、そのリハビリをするのかを患者様自身が感じながらリハビリに取り組むことが出来ます。

また、セラピストもより明確な目標を持ってリハビリをすることができます!!

ADOC を実施して、TEAM全体で患者様のニーズや目標を共有できるように結果を印刷してリハカルテに入れていきます。本年度は、OT がかわかる 80%の患者さんに使用することを目標に取り組んでいます!

tomori kounosuke様 作業療法 目標設定 説明シート

データ作成日: 2010.08.23 シート作成日: 2010.08.23

これは作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)によって選択されたtomori kounosuke様の目標と、その目標に対する満足度を確認するためのシートです。担当作業療法士が現在のtomori kounosuke様の今の状態や今後の作業療法プランについてコメントを加えています。ご意見等がございましたら、担当作業療法士まで何なりとご相談ください。

セルフケア: 更衣

満足度 2 / 5



まずは普段着で練習を始め、着方の手順を覚えていきましょう。また普段の生活でもできるように、朝夕の実際場面で練習しましょう。また、仕事着としてスーツ、シャツ、ネクタイを着る練習もしていきましょう。

対人交流: 友人との交流

満足度 1 / 5



職場、友人との交流を大切にされているそうですね。入院中はメールやSkypeなどを活用していきましょう。

仕事・学習: 仕事(有給)

満足度 2 / 5



もっとも仕事が気になるようですが、まずは普段の生活からできることを増やしていきましょう。また、仕事にでれるだけの体力作りと並行して、職場の上司とも復職の要件などお聞きしましょう。



(ADOC HP より引用)

次回リハビリブログは、「OTのグループワーク」を特集します。お楽しみに!